

絵 題字
山元 悦子 (美術)
大迫 絹子 (書道)



加治木だより

未来社会の創り手

校長 宇都 尚美

樹齢百年を超える正門横の銀杏の木は、四月の色彩やかな新緑から秋には黄金色の輝きに変わり、年末にはすっかり落葉しました。冬芽が寒さに耐え春の訪れを待っています。

三年生との出会いは一学期の始業式。凛とした姿、純粋な眼差しを今でも忘れません。後輩をリードする頼もしい姿、高い志を持って日々努力する姿は伝統ある校風をしっかりと引き継いで

三年生との出会いは一学期の始業式。凛とした姿、純粋な眼差しを今でも忘れません。後輩をリードする頼もしい姿、高い志を持って日々努力する姿は伝統ある校風をしっかりと引き継いで

一年間有難うございました。

PTA会長 高橋 隆一郎



PTA会員の皆様、一年間、加治木高校のPTA活動に御協力いただきまして、誠に有難うございました。ご多忙のところ、御協力いただきまして誠に有難うございました。

今年度を振り返ってみますと、依然として様々な制約があり、充分に活動出来なかったという印象です。校内や校外で開催される会議や研修会等へは、以前のように参加出来るようになりましたが、校内において活動は、一年

第 57 号
2023.2.28
加治木高等学校
PTA発行

〒899-5214
鹿児島県姶良市加治木町
飯屋町211番地

生徒指導部・進路指導部		P 2
一日遠行・修学旅行を振り返って		P 3
3年ぶりの遠行開催		P 4・5
PTA活動報告		P 6
卒業生へはげましの言葉		P 7
部活動大会入賞記録		P 8

いると感じました。この三年間は感染症の蔓延によって、人々が集まり、話し合い、触れ合うといった日常的な行為が奪われましたが、学校行事で見せる清新鋭利とした姿には若いエネルギーと豊かな感性が溢れていました。

今、私たちは変化が激しく予測困難な時代を迎え、地球規模の課題に直面していますが、見方を変えれば可能性に満ちた時代、新しい価値観が生まれる時代でもあります。一人一人が自分の良さを発揮し、社会のためにできることを模索し続けること、一人一人が多様な人々との対話を通して、他者の

生、二年生が参加する遠行のお手伝いや、正門の門松づくりくらいでしょうか。少人数での集まりは徐々に通常に戻ってきておりますが、大人数で集合しての活動が、まだまだ難しい状況です。その為、ここ数年、PTA会員同士の交流がほとんど取られておらず、つながりが薄くなってきた感じがします。顔も分からず、面識が無いと、トラブルが起こりやすくなり、大きな傾向にもあるので個人的にも大変心配しています。それだからといって、何か出来るわけではありませんので、世の中が以前に近い状態に早く戻る事を願うばかりです。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとう

価値観を尊重しながら協働することが豊かな人生とよりよい社会の実現につながると 생각합니다。校歌の一節「常に鍛えてたゆまざる」そんな加治木高校での人間的成長を土台に学びをさらに深めて、将来、社会の創り手となることを願っています。

保護者の皆様、コロナ禍の三年間、ご理解とご協力、誠にありがとうございました。皆様の支えをいただきながら日々の教育活動を行ってまいりました。心より感謝申し上げます。

ございます。三年間ほぼ毎日、朝から晩まで、多くの時間を勉強に費やされたかと思えます。多くの方は、もうこんなに勉強することはないのではというくらい、努力されたかもしれません。本当によく頑張りました。お疲れ様でした。人生にとって短い時間ではありますが、貴重な経験ですので、大切な思い出のひとつになさって下さい。卒業後は皆さん親元を離れて新しい場所へ行かれる方も多いと思います。が、伝えたい事はひとつです。月並みですが、『自分を大切に、健康に気を付けて、人生を楽しんで下さい。』加治木の地から応援しています。また、会いましょう。

生徒心得の改正について

生徒指導部 福里 光弘

加治木高校第74代生徒会（令和3年6月〜令和4年5月）の活動テーマの一つに「生徒の意見を取り入れながら、校則等の見直しの検討」があった。生徒へ実施した「公約アンケート」において髪型・服装等の見直しの意見が最も多く、このテーマを実現させるために、「改革委員会」の設置を要望し、職員会議で承認された。

改革委員会の活動期間は令和4年3月〜6月であり、生徒心得の改定案作成に向けて全6回の定例会を開き、生徒総会を経て生徒指導部へ提出された。

改定案は6項目であったが、生徒指導部で改革委員会から示された内容を活かしつつ再検討を重ね、令和5年度の生徒心得を作成し職員会議で承認された。

生徒心得改正に併せて生徒会が加治木高校校則（案）を作成した。現在、加治木高校は「校則」ではなく「生徒心得」という名称である。「生徒心得」とは別に「加治木高校校則」を作成したのである。

加治木高校校則（案）

「加治木高校生はみな、自らの自治精神に基づき主体的に考え、加治木高校生としての清潔さと品位を損なわない

行動及び容儀を心がけることとする。しかし、生徒は、細かく定められた規定によって、自らの主体性及び個性を過剰に損なわれてはならない。」

校則（案）の前半部と後半部で内容の読み取り方により大きな差異が生じる可能性がある。しかし、注釈として「生徒が自身の容儀、行動を主体的に考えられるようにあえて抽象的な表現を多用した。」とある。このことから、加治木高校教育の根本精神である「校則」は、加治木高校生の理想像を表す「生徒会宣言」、加治木高校生の決まりのコンセプトを表す「校則」の3つがバランスをとりながら、加治木高校生の生活を支える基本となる。これが改定された生徒心得の目標である。

また、規定を改定しても「学校全体がマイナスの方向へいくことはない。」ということを証明しなければならない。服装容儀指導を廃止して2年目になるが、生徒一人一人が加治木高校生の一員であるという自覚をもち、服装容儀について、自らを律すること

を継続すべきである。生徒指導部は今後も、生徒心得の改定については生徒の意見を取り入れながら柔軟に対応していく。生徒自身も加治木高校生としての清潔さと品位を損なわない行動及び容儀を心がけて欲しい。

学力の3要素

進路指導部主任 宮原 誠

現代は、パンデミックや戦争といった危機が世界に影を落としています。AI（人工知能）やビッグデータ、IoT（モノのインターネット）、メタバース（仮想空間）に象徴される科学技術が日進月歩で進化しています。また、加速化する少子高齢化といった問題や国際化の進展により、社会構造も急速に、かつ大きく変化してきています。私たちが今まで体験したことがない出来事が現実になり、想像以上のスピードで変化しています。

こうした背景のもと、日本では「高大接続改革」が進められています。高大接続改革とは、変化の激しい時代・社会において自立的に活動するために必要な学力の3要素をバランス良く育む事を目的に、高校教育・大学教育・大学入試において三位一体で進める改革です。

高校教育では、学力の3要素を育成し、高校までに培った力をさらに向上・発展させ社会に送り出すための大学教育、大学入試では、学力の3要素を多面的・総合的に能力を評価する入試へと転換を図ることが目標に掲げられています。

学力の3要素とは①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体性・多様性・協調性」の3つです。①は、個別の知識にとど

まらず、学んだ内容が相互に関連付けられ、生きていく上で役立つ知識であることを意味しています。②は理解していること・できることを表現する力、また、「答え」が用意されていない、未知の状況にも対応できる力です。③は主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度のことです。今までは、こうした学力の3要素は大学で身につけるべき内容でした。今後は高校の段階で身につけ、より高度な大学教育を受けるに足るのかを大学入試で問われることになります。

高大接続改革による代表的な施策が大学入試センター試験に変わって、21年1月より実施された大学入学共通テストです。共通テストでは、探究活動や授業の場面・日常の場面での知識・技能の活用を見る問題、複数の資料を読み解く問題等が出題されています。知識があることに重点が置かれ、暗記していれば得点ができる知識偏重型の出題ではなく、知識と学んできた経験から新しい考え方を解答として示すための思考力・判断力・表現力が問われているのです。

現代は先行き不透明な「予測困難な時代」と言われています。変化の激しい時代に対応するため、地球規模のあらゆる課題への解決策を見つけ出していかなければなりません。答えとなる選択肢を見つけ出し、決断する力を身につけるためには、学力の3要素をバランス良く鍛える必要があるのではないのでしょうか。

令和4年度第24回一日遠行

体育科 東 博子

コロナ禍で中断されていた伝統行事、歴史ある龍門司坂を含む約25kmのコースを完歩する「第24回一日遠行」を3年ぶりに実施することができた。

当日の朝は爽やかに晴れ渡り、まさに遠行日和となった。9時から女子297名、20分後に男子291名、計588名が校長先生の「皆さん元気ですかー!」「頑張るぞー!」といったかけ声とともに元気にスタートし、学校を後にした。

1、2年生全員が初めてのコースであり、普段歩かない25kmの距離。ひたすらゴールを目指して歩を進める生徒に、総務車より声をかけると、にこやかに挨拶をして、声援に応えるさわやかな笑顔が多く見られた。そしてリタイヤが9名でたものの、大きな怪我や事故もなく、579名が完歩することができた。最後まで忍耐強く歩を進めゴールした生徒の表情は、すがすがしく達成感に満ちた笑顔で溢れており、まさに「めざす加治木高校生像」だと感じ、多くの感動をもらった。

最後に、コロナ禍での遠行実施に際し、アドバイス頂いた学校医の濱崎先生、ベクトボトルの配布や生徒の応援で生徒を支えてくださったPTA役員の皆様、地域の方々、長時間の立哨指

導していただいた先生方。無事終わることができたのは、関わった全ての皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいである。このすばらしい伝統ある行事がまた続いていくことを期待し報告とする。

修学旅行を振り返って

二学年主任 梶原 武

令和四年十二月六日、加治木高校七十六期生の修学旅行は福島・関東を目指した。事前に降雪不足が予想されたため、当初の予定を変更して実施した。以下、生徒たちの感想をもとに振り返ってみた。

【初日】鹿児島から東京・福島へ。

「東京の町並みや福島の雪景色など鹿児島では経験することのできないものばかり」、「ホテルの夜に外で雪合戦をした…永遠に続けられるような気がした」。



【二日目】いわき市スパリゾートハワイアンズで震災講話、一山一家を知ると。講話では諦めないことの大切さを学びました。幾度となく倒産の危機が訪れる中で、懸命に会社を守っている、地域を盛り上げようとする人々の姿はかっこよく、とても素晴らしいと思いました」。



【三日目】ディズニーストリートで「変身」する生徒たち。「最初は楽しめる不安だったけど、園内に一歩踏み入れた途端に世界が変わったかのようになり、あだから『夢の国』なんだなあと感じさせられるほど楽しかった」、「朝から女子みんなは盛るために髪を巻いたりセットしたり…ギャルになったいて、この時間がとても楽しかった」。

【四日目】上野・浅草で「本物」を体験。国立博物館では世界史や倫理の資料集に載っていた実物を見て興奮した、「科学博物館で色々な単位、物理量に触れました。実際に体験すると、ものの見方が全く違うものになった」。

た」、「東京という大都市の今までに見たことのない景色を見て、一気に将来が広がったと思いました」。



【旅行全体を通じて】「友達の知らない面がたくさん見られたり、いつもの学校生活では話してこなかったことも話せたりして、久しぶりにスマホとかを使わずに楽しめた気がします」、「ココが良かったと言うのが難しいぐらい本当に全部楽しかった。何もかも四日間九十六時間がこんなに楽しいと思ったことがないくらい充実していた。大好きな先生たちや友だちとずっと一緒に居ることをこんなにも幸せに感じたのは初めてです」、「行く前のワクワクも、終わった後のさびしさも全部良い思い出になった。クラスの人とも男女関係なくたくさん話せて仲良くなれて嬉しかった」。

生徒たちは、この修学旅行でそれぞれ学び、大いに成長する機会を得た。人生の中で、一番楽しく、濃密で有意義な四日間を過ごすことができた。今回の修学旅行に際し、ご理解・ご協力くださいました保護者の皆様、心より感謝申し上げます。

遠行開催

加治木高校出発⇒龍門司坂⇒さえずりの森⇒辺川小学校跡⇒竹山ダムの往復 25 km

普段見慣れた街並みから離れ自然環境豊かな道のりをマラソン並みに駆け抜ける生徒あり、仲間との会話をしながらウォーキングする生徒あり、一人黙々と歩く生徒あり、とそれぞれのペースで進みました。PTAでは、感染対策を第一の目標にして、頑張る生徒の応援に専念しました。

『山あり谷ありの道を乗り越える力』を手に入れたことでしょう。

高校内において経験者はいないことからコースなどの情報がなく、不安？があったかもしれませんが、当日は笑顔や苦い顔を浮かべながらも一生懸命がんばる姿を間近で見ることができました。

1年8組理事 吉原 敏樹
3年ぶりとなった加治木高校の『一日遠行』。コロナ禍において前回までの遠行と大きく変わったのは各休憩所での『おもてなし』。お菓子や梅干しなどの提供はなく、応援だけのお手伝いとなりました。



元気にピース✌️



絆 ふかめます



大自然満喫



さわやかに駆け抜ける



3年ぶりの

竹山ダム



2年2組理事 吉永 悦子
2年8組理事 吉村 靖子

3年ぶりとなる加治木高校恒例の「一日遠行」が、秋の穏やかな天候の中開催されました。先生方とともに、1年生理事はさえずりの森、2年生理事は竹山ダムでスタンバイ。先頭は2年生女子。1時間ちよつとで約12kmを上がつてきました。笑顔で走ってくる姿に親は感動！すごい体力です。折り返し地点の竹山ダム点では友達と座って腹ごしらえ。遠行を楽しむ子ども達がいきました。マスクなしの子ども達の笑顔に、私たちも爽やかな1日を過ごしました。

竹山ダム応援団(2年理事)



ちょっと休憩

チェックポイント
何番についたかな？

折り返し地点で歓談



はい・びーす

ポイ捨てせずに
環境保護

やった～到着！



やつと着いた。



ゴールまで頑張ろうね！

先生の迅速な
対応に感謝

PTA副会長 徳留 早陽子
1・2年ともに初参加の行事である遠行が3年ぶりに開催されました。往路はまだ余裕と笑顔が見られ楽しそうな様子でしたが、復路はさすがに疲れたのか辛そうな表情で通り過ぎていく生徒が多く、応援に力が入りました。3年前と同じような応援活動はできませんでしたが、沿道からの声援に笑顔や手を振って頑張る子ども達の姿を見る事ができ、たくさんの感動をもらいました。



一気に駆け抜ける！

ゴール
目指します！さわやか
笑顔

辺川小跡

昨年度までコロナ禍で縮小・中止されていたPTA関連事業ですが、感染対策を万全にしながら再開されました。会員同士の親睦を図り、情報共有することの楽しさ、大切さを実感した年となりました。これからも子どもたちの「青春時代」を支える保護者同士が、親睦を深め、強力な応援団として楽しく活動していきましょう。



6月26日 始良市PTAスポーツ交流会

6月26日、始良市PTAスポーツ交流会が開催されました。加治木高校も昨年度から参加しており、今年度は校長先生も一緒に10数名のメンバーでバレーボールを楽しみました。当日の試合に向け、他校と練習試合を行ったり、熱心に取り組みました。結果は1勝1敗、大いに盛り上がり、気持ちの良い汗をかき、より交流を深める楽しいスポーツ大会となりました。

PTA副会長 西 江梨香

7月27日 研修視察

1年1組理事 家村 美由紀
今年度入学して参加した研修視察。参加8名。7月27日青空の下、校長先生に笑顔で見送られ出発しました。訪問先は宮崎大学と宮崎公立大学。バスでの敷地内見学や担当者による学校の特色や入試関係等の説明、質疑応答等の時間がありました。また、昼食時間やバス内では、参加者同士の学年を超えての交流も楽しく充実した時間を過ごせました。今回の機会に感謝しながら、子ども達自身も二度とない高校生活をそれぞれに、充実した日々を過ごしてほしいです。



12月17日 門松作り

PTA副会長 宇都 陽一郎
今年度は、12月17日(土)に「門松作り」を行いました。本来であれば、多くの保護者に声をかけたかったのですが、コロナ感染対策の面から受験を控えている三年生のことを一番に考え、校長先生を筆頭にPTA総務部で製作しました。今回の門松は、気品さを追求しました。「一年の幸せを運んでくれる」と言われる歳神様も喜んで来校してくれたと思います。その幸せをしっかりと握りしめて次のステージへ突き進んでください！



加治木高校七十五期生に栄光あれ

三年一組担任・パンカラなパブロ使い

上赤 洋平

七十五期生のみなさん、卒業おめでとうございます。私もみなさんと同じく、三年前に加治木高校に赴任いたしました。あつという間でしたが、みなさんの爽やかな姿に日々感動し続けた三年間でした。新天地での活躍を心よりお祈り申し上げます。

さて、私は歴史小説が大好物です。私のリスpektする偉人のエピソードをいくつか紹介したいと思います。みなさんの人生の糧になることを願っています。

○島津義弘（惟新公）

武勇で知られた義弘公も晩年衰弱し食欲が衰え、食事もしなくなつた。それを見かねた家臣が一計を案じ、部屋の外で関の声をあげさせた。戦太鼓鳴り響く中「殿、いくさでござりますぞ」と告げると、みるみる元気をとりもどし昼食をたいらげた。

○西郷隆盛（南州翁）

西郷どんが若い頃、洪水があつた。ふと見ると、赤い草履が流されてくる。西郷どん草履にむかつてにつこり、曰く「草履さん、こんな嵐の日どこにいくんですか」

西郷どんが土佐の坂本龍馬を自宅に招いた際、雨漏りがひどかった。西郷

どんの夫人が「これではお客様に恥ずかしい」と西郷どんを責めた。すると

「今は日本国そのものが雨漏りをして

○海音寺潮五郎

海音寺先生は前

の大戦において、

記者として従軍し

た。ある時、若い

中尉が従軍記者た

ちにむかつて「貴

様らもたまたして

るとたたき切る

ぞ」と怒鳴つた。

海音寺先生すかさ

ず「たたき切れる

「笑顔」の力

三年五組担任 濱田 雄志

緊急事態宣言の中、誰もが先の見通

せない不安を抱えスタートした高校生

活もいよいよゴールを

迎えます。皆さんと過

ごした三年間は私にと

つてもかけがえのない

ものとなりました。

この場を借りて、み

なさんに伝えたいこと

があります。それは、

「笑顔」の大切さで

す。この三年間、感染

症拡大以外にも、ロシ

掛けてきたつもりです。笑。私と関わ

る全ての人を、少しでも「笑顔」にで

きたらいいなと思いながら毎日の学校

生活を送っていました。

なぜ、「笑顔」にこだわったかとい

うと、「笑顔」の持つ力の凄さを自分

自身がよく知っているからです。小学

校から大学まで、部活動に打ち込んで

いましたが、いかなる逆境に立たされ

ても、「笑顔」と大きな声でいくつも

の逆転勝利を収めることができました。

た。NK細胞が活性化され免疫力が上

がるとのデータもありますが、おかげ

さまで毎日元気に過ごしています。表

情筋が刺激されドーパミンやエンドル

フィン、セロトニンが分泌されること

で気持ちも安定し、前向きに物事を考

えられるようになります。「笑顔」

でいることで、人も集まってきて、頼

もしい仲間にも恵まれます。

これから先の人生、思い通りになら

ないことや、気持ちが落ち込むことも

たくさんあるでしょう。そんな時に

「笑顔」の力を思い出してください。

きつと物事が良い方向に進んでいくは

ずです。

最後に、卒業おめでとう。そして、

三年間たくさんさんの思い出をありがと

う。「幸運の女神は笑顔と謙虚な人の

ところに近寄ってくる。」という、王

貞治さんの言葉を贈るとともに、みな

さんの人生が幸多からんことを心から



尉は顔面蒼白になり何も言えなかつた。

最後に一言。どんなことがあっても人生なんとかなります。ホントだよ。

まで以上に「笑顔」でいることを心掛けました。また、授業始めに行っている気になるニュースの話や、休み時間・放課後の些細な会話の中で、少しでも皆さんを「笑顔」にできるよう、ネタを増やし、ワードセンスに磨きを

願っています。

